



2022年6月20日

報道関係各社 御中

一般社団法人 日本画像学会

第3回『複写機遺産』認定

一般社団法人日本画像学会（本部：東京都中野区本町2-9-5東京工芸大学内、会長：佐藤利文）は、6月20日、第3回『複写機遺産』認定事業において下記3件の資料を複写機史上における重要性および、保存継承の必要性を認め、複写機遺産として認定を決定いたしましたので、お知らせいたします。

【第3回複写機遺産認定一覧】

資料番号：資料名称	認定理由	製造年	所在地
第08号： キヤノン NP カラー	世界初NPフルカラーアナログ普通紙複写機	1978年	茨城県取手市
第09号： リコー ニューリコピー DT1200	普通紙コピーの新潮流をつくったベストセラー小型湿式PPC	1975年	神奈川県海老名市
第10号： 三田工業 コピスター 211	独自の湿式EF技術を採用した小型A3対応機	1969年	大阪府中央区

『複写機遺産』は、2018年、日本画像学会創立60周年を記念し、日本における複写機産業の原動力となった初期の複写機の技術的、社会的功績を顕彰し、現存する歴史的複写機に搭載された技術の記憶を長く記憶にとどめ、後世に伝えるために創設されました。第3回目の認定事業では、3件の新規申請資料と、第1回からの継続審査資料14件を併せて審査を行い、複写機技術発展史上の重要性や、国民生活、文化・経済、社会、技術教育に対する貢献と、その独自性や歴史的特徴を評価した結果、上記の認定となりました。

なお、認定式は、6月22日（水）、日本画像学会年次大会（第129回）Imaging Conference JAPAN 2022（オンライン開催）の中で実施いたします。



写真左から、複写機遺産第 08 号「キヤノン NP カラー」、第 09 号「リコー ニューリコピー-DT1200」、第 10 号「三田工業 コピスター211」

【日本画像学会について】

一般社団法人日本画像学会は、画像の基礎と応用に関する情報交流を行い、画像技術の進歩と発展を目指す技術者、研究者の集まりです。本学会は画像科学と技術、およびこれらに関する分野の情報を交換、吸収するさまざまな場を提供しています。

1958年(昭和33年)に電子写真学会として発足し、電子写真、ノンインパクトプリンティングを中心とするハードコピーに関する新しい材料、新しいデバイスやプロセス、画像処理などに関する実用的な技術開発と、画像科学に関する基礎学問の発展に寄与してきました。1998年(平成10年)に現在の名称に変更するとともに取り扱う技術領域を拡大、2010年(平成22年)に法人設立登記を行い「一般社団法人日本画像学会」として新たに出発しました。

2021年(令和3年)10月には、本学会を含む画像関連学会連合会が連携し、画像に関する国際会議、International Conference on Advanced Imaging 2021 (ICAI2021)をオンライン開催し、国際的な学術交流を果たしました。

現在、会員数は約 700 名で、イメージングに対する大きな夢の実現に努力しています。

日本画像学会は、日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

<本件に関する問い合わせ>

一般社団法人日本画像学会

事務局長：竹内 達夫

電話：03-3373-9576 (受付時間 平日10:00~17:00)

電子メール：isj-information@isj-imaging.org

URL：https://www.imaging-society-japan.org/isj.html